

- 越後・日光・三国山系カモシカ保護地域特別調査における調査地点
- 関東山地カモシカ保護地域特別調査における調査地点
- 特別調査以外で実施する調査地点

〔図-9 生息密度調査地点位置図〕

## 〔表-7 2012~2019年(平成24~令和元年)に実施したカモシカ生息密度調査結果〕

# 【保護地域外】

地域名	個体群名	市町村名	調査地点 番号 <sup>※1</sup>	調査地点名	調査方法	調査年・月	生息密度 (頭/km²)	保護地域	備考
		高崎市	1	大峯東	区画法	2018 · 11	0.90	外	
			2	日蔭本庄	区画法	2018 · 11	0.99	外	
		安中市	3	仙ヶ滝	区画法	2018 · 11	0.00	外	
		中之条町	26	四万	区画法	2012 · 11	2.04	外	
			27	六合	区画法	2012 · 11	0.93	外	
			26	四万	区画法	2019 · 10	4.12	外	
			27	六合	区画法	2019 · 10	4.55	外	
		東吾妻町	9	薬師岳	区画法	2019 · 11	2.63	外	
			6	甘酒原下	区画法	2019 · 10	0.00	外	
			28	榛名山	区画法	2012 · 11	1.85	外	
			28	榛名山	区画法	2019 · 11	1.89	外	
		長野原町	10	王城山	区画法	2019 · 10	0.00	外	
			29	一 <i>州</i> 一 狩宿	区画法	2012 · 11	0.00	外	
			29	狩宿	区画法	2019 · 10	0.88	外	
			30	 門貝	区画法	2015 · 11	3.37	·····································	
	1	710.0.13	30	門貝	区画法	2019 · 10	4.81	外	<b></b> * 2
	上		31	干俣	区画法	2015 · 11	2.63	外	<b>*2</b>
利	信		32	田代	区画法	2015 · 11	1.10	外	<b>* 2</b>
根	越		33	大横川	区画法	2014 · 11	0.00	外	<b>* 2</b>
•	•		34	大沢川	区画法	2014 • 11	3.13	外	* 2 * 2
· 吾	南		35	田代湖西			0.76	外	× 2
妻	会		35		区画法	2012 · 11	0.70		
<del>女</del> 地	津			田代湖西	区画法	2019 · 10		外	
域	個		36	野地平	区画法	2012 · 11	0.00	外	
*34	体 群	## >## m=	36	野地平 	区画法	2019 · 11	0.00	外	
		草津町	15	前口	区画法	2019 · 10	3.16	外	
		高山村	16	中ノ岳	区画法	2019 • 10	0.00	外	
		沼田市	40	上発知	区画法	2015 · 11	1.01	外	
			40	上発知	区画法	2019 · 10	3.00	外	
			17	オバコ沢	区画法	2019 • 10	0.00	外	
			41	田代山東	区画法	2012 • 11	0.76	外	
			41	田代山東	区画法	2019 • 10	0.84	外	
			38	砂川	区画法	2019 • 11	1.02	外	
		片品村	42	戸倉	区画法	2015 • 10	3.96	外	
			37	西俣沢南	区画法	2015 • 10	1.83	外	
			37	西俣沢南	区画法	2019 • 10	0.00	外	
		川場村	43	太郎北部	区画法	2015 • 11	3.09	外	
			43	太郎北部	区画法	2019 • 11	0.00	外	
		みなかみ町	20	ナラ谷	区画法	2019 • 10	0.87	外	
			21	ーツ岩	区画法	2019 • 10	5.95	外	
		昭和村	44	糸之瀬	区画法	2015 · 11	1.03	外	
			44	糸之瀬	区画法	2019 · 11	1.85	外	
同生・足尾 地域	日光・足尾 個体群	桐生市	67	梅田湖	区画法	2017 · 11	0.00	外	
			66	寒戸	区画法	2017 · 10	3.16	外	
		みどり市	65	大岳	区画法	2017 · 11	0.95	外	********
	1		63	座間	区画法	2017 · 11	2.08	外	
		下仁田町	70	タラ久保沢	区画法	2018 · 11	1.02	外	
	秩父・多摩	南牧村	71	…グラス体が 熊倉	区画法	2018 • 11	0.77	外	
上州地域	個体群	神流町	72	····································	区画法	2018 • 11	1.77	/r 外	
	II= F**¥T	1.1.1/10 to 1.1	J	— = / T	E-21/A	2010 11	4.11	/r	

<sup>※1</sup> 調査地点番号は図9の数字およびアルファベットに対応

<sup>※2</sup> 教育委員会による農地周辺における食害対策調査実施地点

## [表-8 2012~2017年(平成24~29年)に実施したカモシカ生息密度調査結果]

【保護地域内:文化財保護課による特別調査実施地点】

地域名	個体群名	市町村名	調査地点 番号 <sup>※1</sup>	調査地点名	調査方法	調査年・月	生息密度 (頭/km²)	保護地域	備考
		中之条町	45	相ノ倉	区画法	2012 · 10	0.00	内	
			46	野反湖	区画法	2012 · 10	0.00	内	
		片品村	47	ウルシ沢	区画法	2012 · 11	1.11	内	
			48	ニゴリ沢	区画法	2012 • 11	2.01	内	
	上		49	笠ヶ岳	区画法	2013 · 10	0.93	内	
利	信越・南会津個体群		50	丸沼温泉	定点観察法	2013· 3	0.51	内	
根			51	蛍塚山	区画法	2013 · 11	0.00	内	
•			52	皿伏山	区画法	2013 · 10	0.00	内	
吾			53	至仏山	定点観察法	2013 · 4	0.24	内	
妻			54	唐沢山	区画法	2013 · 11	0.00	内	
地			55	富士見下山荘	定点観察法	2013 · 2	0.38	内	
域		みなかみ町	56	イラサワ山	定点観察法	2013 · 4	0.63	内	
			57	西黒尾根	区画法	2012 • 11	0.00	内	
			58	谷川	定点観察法	2012 • 12	2.59	内	
			59	平標山	定点観察法	2013 · 5	0.37	内	
			60	蓬峠	定点観察法	2013 · 5	0.79	内	
			61	矢木沢ダム	定点観察法	2013 · 4	0.00	内	
西上州地域	秩父・多摩	上野村	75	長戸沢	区画法	2017 • 11	0.00	内	
ロエバルビス	個体群		76	三国山	区画法	2017 • 11	0.00	内	

<sup>※1</sup> 調査地点番号は図9の数字およびアルファベットに対応

〔表-9 地域別カモシカ平均生息密度〕

	保護地域内	保護地域外			
管理地域	平均生息密度	平均生息密度			
	(頭/k㎡±S.D.) n 95%信頼区間	(頭/k㎡±S.D.) n 95%信頼区間			
利根・吾妻地域	$0.56 \pm 0.75  17  0.50 \sim 0.63$	$1.58 \pm 1.59  41  1.46 \sim 1.70$			
桐生・足尾地域		$1.55 \pm 1.37  4  0.63 \sim 2.47$			
西上州地域 ※		$0.76 \pm 0.68  6  0.61 \sim 0.70$			

<sup>※</sup>西上州地域については保護地域面積が非常に狭いため、全域で算出し、便宜上保護地域外に記載した。

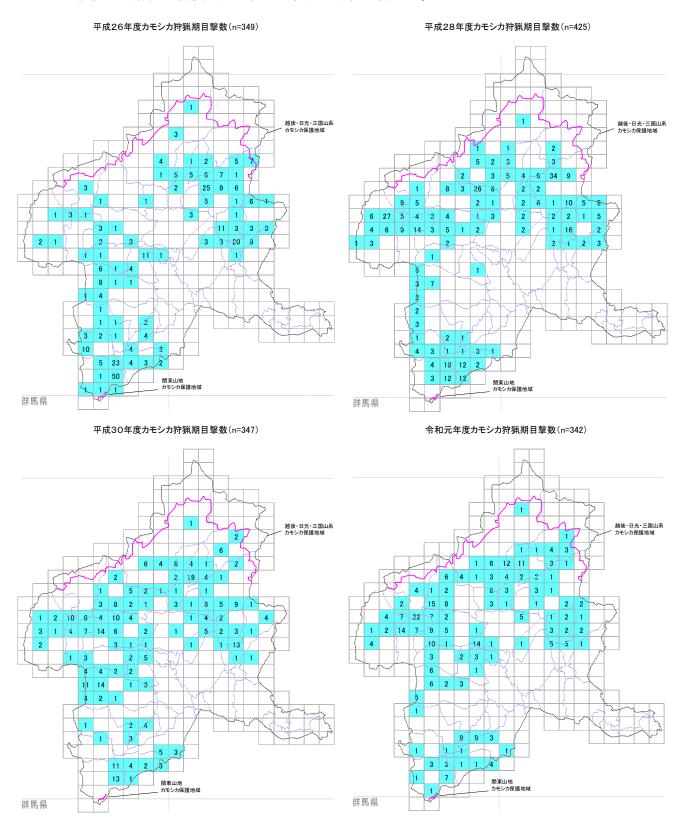
〔表-10 県内のカモシカ推計生息頭数〕

管理地域	保護地域内		保	:護地域外	計		
	推計頭数	95%信頼区間	推計頭数	95%信頼区間	推計頭数	95%信頼区間	
利根·吾妻地域	436	385 ~ 486	3, 973	$3,681 \sim 4,287$	4, 409	$4,066 \sim 4,773$	
桐生·足尾地域			688	$279 \sim 1098$	688	$279 \sim 1,098$	
西上州地域 ※					586	471 ∼ 536	
合計					5,684	$4,815 \sim 6,407$	

<sup>※</sup>西上州地域については保護地域面積が非常に狭いため、全域で算出した。

#### (4) 狩猟報告による目撃情報

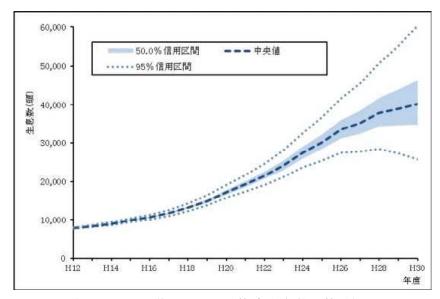
2014年(平成26年度)狩猟期から狩猟の際のカモシカの目撃情報を収集している。今後も継続して情報の蓄積を行い、生息状況の把握に努める。



[図-10 カモシカ狩猟期目撃数]

#### (5) シカの生息状況

群馬県ニホンジカ適正管理計画(第二種特定鳥獣管理計画・第五期計画)によると、2018年(平成30年)4月時点における県内のシカ推定生息数は、中央値40,140頭(50%信用区間:34,630~46,360頭)と推計されている。これは、2013年(平成25年)の推定生息数(中央値33,410頭(50%信用区間:31,100~35,950頭))との比較や近年の推移の状況を見ると、増加傾向が続いている。(図-11~図-12)シカの密度が上昇することにより、カモシカの密度が低下する可能性も懸念されており、シカの高密度化と急速な分布拡大がカモシカの生息動向に与える影響を、今後も注視する必要がある。



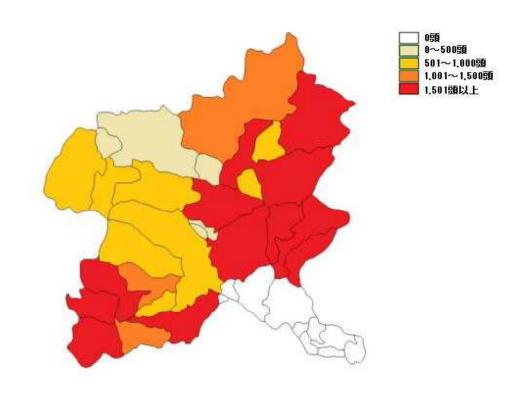
[図-11 群馬県のシカ推定生息数の推移]

[表-11 群馬県におけるシカの推定生息数の推移]

(単位:頭)

年度*	95%信用区間 下限値	50%信用区間 下限値	中央値	50%信用区間 上限値	95%信用区間 上限値
H12	7,619	7,747	7,815	7,882	8,012
H13	8,087	8,271	8,368	8,466	8,655
H14	8,602	8,845	8,973	9,101	9,353
H15	9,395	9,703	9,866	10,030	10,370
H16	10,000	10,380	10,590	10,800	11,250
H17	10,960	11,430	11,690	11,970	12,550
H18	12,220	12,800	13,140	13,500	14,260
H19	13,770	14,500	14,930	15,390	16,400
H20	15,770	16,680	17,230	17,830	19,140
H21	17,420	18,580	19,280	20,060	21,740
H22	19,190	20,660	21,550	22,540	24,720
H23	21,130	22,960	24,110	25,370	28,150
H24	23,650	25,980	27,400	29,010	32,560
H25	25,460	28,370	30,210	32,240	36,780
H26	27,450	31,100	33,410	35,950	41,670
H27	27,780	32,360	35,240	38,450	45,630
H28	28,470	34,210	37,790	41,800	50,810
H29	27,340	34,480	38,930	43,940	55,190
H30	25,720	34,630	40,140	46,360	60,370

※各年度の4月時点の推定生息数



〔図-12 シカの市町村別推定生息数(2018年(平成30年)4月時点)〕